

原子力発電所の安全対策及び防災対策に対する提言(案)〔要点〕

1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に係る対策

- 汚染水の漏えいを防ぐための予防的・重層的な対策及び廃止措置を進めるに当たっての設備の信頼性向上やリスク管理の徹底
- 国民の立場に立った情報公開の徹底や根拠のない風評被害に対する正確な情報発信

2 原子力施設の安全対策

- 真に実効性のある原子力安全規制とするため、原子力施設の安全審査に当たっては、新規制基準を厳格に適用し、安全対策の強化を図ること
- 原子力規制委員会については、3年以内の見直しに向けて、透明性を確保し、地方公共団体等の意見に真摯に耳を傾け、真に国民の理解と信頼が得られる組織とすること
- 原子力発電所の再稼働については、安全性はもとより、エネルギー政策上の重要性や必要性を十分考慮し、国が責任を持って判断するとともに、その経緯や結果について、国民に十分な説明を行い理解を得ること
- 使用済燃料対策については、早期解決に向けて国が主体となって取り組むとともに、最終処分地の早期選定に当たっては、国が前面に立ち国民理解を得た上で誠実かつ慎重に行うこと

3 原子力防災対策

- 重大事故が起こった場合に備え、自衛隊などの実動組織の支援等について、国の体制を明確にすること
- 国においてSPEEDI等の予測的な手法を活用する仕組みを構築すること
- 地方公共団体を実施する防災対策の範囲が大きく広がったことを踏まえた資機材の増強や人員の増員に必要な適切な財政措置及び人的支援